

話して 使おう しまくとうば

ばなし ちからな しまくとうば

なちじんくとうば (今帰仁ことば)

スピーカーをクリックすると、
音声が流れます。



はじめに

はいさい、ぐすーよー ちゅーうがなびら。しまくとうば かなさっし、いちまでいん ぬくする たみに ちがきてい くいみそーち にふえーでーびる。んなっし ちばてい いちゃびらな (ハイサイ、皆さんごきげんいかがですか。しまくとうばを大切に、いつまでも残すために お励み下さり有難うございます。みんなで頑張っていきましょう)。

沖縄ほど数多くの種類のことばを持っている地域はありません。村が違えばことばも違います。そのことばの違いは村の個性を形作る重要な要素で、しまくとうばの豊富さは沖縄の文化の豊かさにつながっています。村々の個性豊かな文化を大切に、次代に受け継いでいくためにも、しまくとうばを大切にしていかななくてはなりません。

沖縄県しまくとうば普及センターではそのために、沖縄各地のしまくとうばの学習のために、簡便なハンドブックを作りました。日常生活のいろいろな場面で使われるしまくとうばについて、この本をとおして接していただきたいと思います。もちろんこの小さな本は、しまくとうばの豊かな世界に入るための入り口にすぎません。皆さんがそれぞれの村々のしまくとうばに興味を持ち、それを身につけていかれるその第一歩として、本書をご活用下さいますことをご期待申し上げます。

2020年3月17日

沖縄県しまくとうば普及センター
センター長 はてるまえいきち
波照間永吉

本書を利用するにあたって

本書『ばなし ちからな しまくとうば』は、今帰仁ことばの話者、平良正男さん（今帰仁村玉城出身）、平良真清さん（玉城出身）、新里清子さん（玉城出身）、平良哲男さん（玉城出身）、渡名喜一江さん（今帰仁村仲尾次出身）の5名の方にくわえ、「しまくとうばで遊ぼう会」の皆さまに協力を得て作成しました。

「しまくとうば」の表記は、カタカナやローマ字、音声記号で表すなど、いろいろな方法があります。本書では、県民の皆様が日ごろから親しんでいる平仮名を用いています。しかし、「しまくとうば」で言い表すことが難しく、共通語をそのまま使っていることばに関しては、漢字やカタカナを用いて表記しているか所もあります。また、「しまくとうば」には、五十音では表現できない音があります。それを表現するために、特別な表記を使っている語もあります。

本書を読む前に、右頁にある「特別な表記について」の説明を読んで、ご理解いただきますようお願い致します。

本書では、東地域（玉城）と西地域（仲尾次）の言葉を取り、紙面では東地域を赤色文字、西地域を青色文字で表記しました。

今帰仁では、同じ今帰仁ことばでも東地域と西地域では、アクセントやイントネーション等の違いがあります。

また、アイウの母音で始まる単語では、東地域では「あ、い、う」のままですが、西地域では「は、ひ、ふ」となる傾向があります。本書でも、東地域の「うきたん（起きた）」が、西地域では「ふきたん」となり、「いちゆく（いとこ）」が「ひちくー」となる例がみられました。

特別な表記について

本書を活用する際、「**っわ**」や「**いえ**」など、日ごろ目にすることのない表記があることに気がつくと思います。これらの表記について、ここで説明します。

①のどに力を入れて発音する音（声門閉鎖音）

発音の出だしに、のどに力を入れて発する音を声門閉鎖音といいます。この音は日本語の共通語には普通みられない音なので、かな文字がありません。ですから、かな文字を2字組み合わせ、左上に小さな「**っ**」を添えて書き表しました。例えば、今帰仁ことばの「**わん**」は「私」の意味になりますが、のどに力を入れて発する「**っわー**」は、「豚」の意味になります。この音はなかなか発音しづらいのですが、「う」と「わ」を区切って発音し、それを次第に縮めていくと似た音を発音できるようになるでしょう。

②やわらかい発音ではじまる音がある（ゆるやかな声立て）

①の「のどに力を入れて発音する音」とは真逆のような音で、出だしに全く力を入れずに発音するのが、この音の特徴です。本書では、この音を表すために左上に小さな「**い**」や「**う**」を添えて「**いえ**」や「**うう**」で表記する

ことにしました。

例えば「夫」は「**うとう**」、「縁（えん）」は「**いん**」となります。通常の出だしの発音の「**うとう**」は「音」の意味になり、「**いん**」は「犬」の意味になるため、出だしをやわらかく発音しないと、通じないこととなります。

この音の特徴は、通常の1音の長さより、ほんの少しだけ長め(1.2～1.3倍ぐらい)の音であることです。また、「**い**」のときには唇を平たくしてあまり開けずに、「**う**」のときには唇を丸めて少し突き出すようにすると上手に発音できるようになります。

「お疲れさまでした」の「**うたんそーちえーさやー**」の語頭の「**う**」や、「**いえ (-) ん**」(～です)の「**いえ**」などの出だしにも、この音があるのです。

③伸ばす音は「ー」で表記

母音が伸びるとき、音を区切って発音することはありません。例えば「獅子」を意味する「**しーさー**」は、通常の発音では「し」「い」「さ」「あ」と区切って発音することはありません。「**しー**」と「**さー**」は区切ることができますが、例えば、「**しー**」の音は区切ることができないため、本書では「**しー**」と表記することにします。

④半角スペースについて

「だ」「です」にあたる「**いえ (-) ん**」「**いえーびん**」、「する」にあたる「**すん**」(ただし、複合動詞のみ)が、前の要素に付く場合には、見やすさを考慮して、半角分のスペースを空けました。

⑤地域差・個人差について

・「**せ**」と「**しえ**」・「**ダ行**」と「**ラ行**」・「**くい**」と「**く**」

これらは、同じ語でも地域や話者によって異なる発音がありますので、本書でも、話者に合わせた表記を取り入れています。

例えば、「～してみてください」を表すしまくとうばが、話者によって「**くみそーれ**」となったり、「**くみそーれ**」となることがあります。同じ地域のことばでも、話者によって、あるいは地区によって異なる発音になることがあるのです。そのため本書では、収録した話者の発した音で表記することにしました。

「今帰仁ことば」でも、必ずしも同じ表現や発音をするとは限りません。本書でも、話者に合わせた表現や表記を取り入れていることをご理解ください。

特に沖縄北部の言葉は、沖縄中南部に比べて喉を緊張させて発音する喉頭化音こうとうかおんが発達しています。例として、「**かーたんなー?** (食べたの?)」や「**まーり** (生まれ)」、**やーびん** (言います) などです。

ただし、この喉頭化音も、最近では共通語や沖縄中南部の影響を受けて、徐々に衰退していく傾向にあります。例として「**ちゃーぎん** (召し上がる)」の「**ちゃー**」は「**ちゃー**」となり、「**もーるん** (いらっしやる)」の「**もー**」は「**もー**」となっていることなどがあります。

1, 挨拶ことば……………8

◆朝起きたとき (8) = 東 (玉城) 地域のことば

◆ごはんを食べるとき (9) = 東地域

◆出かけるとき (9) = 東地域

◆朝起きたとき (10) = 西 (仲尾次) 地域のことば

◆ごはんを食べるとき (11) = 西地域

◆出かけるとき (11) = 西地域

◆外で友人に出会ったとき (12) = 東地域

◆仕事場から帰るときの挨拶 (12) = 東地域

◆夕方・夜の挨拶 (14) = 東地域

◆初対面のときの挨拶 (14) = 東地域

◆二回目以降のときの挨拶 (15) = 東地域

◆その他の挨拶 (16) = 東地域

◆正月の挨拶 (17) = 東地域

2, 自己紹介……………18

◆自己紹介 (18) = 東 (玉城) 地域のことば

◆家族を紹介します (19) = 東地域

◆自己紹介 (20) = 西 (仲尾次) 地域のことば

◆家族を紹介します (21) = 西地域のことば

3, 身体用語……………22

◆身体を表すことば (22) = 東地域・西地域のことば

◆身体に関連することば (24) = 東地域

4, お祝いや行事で使えるしまくとぅば……………26

◆お祝いのことば (26) = 東地域

◆「おめでとうございます」を表現することば (27)
= 東地域

◆行事の際に使うことば (28) = 東地域

5, 拝みのときに使うしまくとぅば……………30

◆祈願することば (30) = 東地域

◆まじないことば (31) = 東地域

6, 病院での会話……………32

◆診察のときの受け答え 1 (32) = 東地域

◆診察のときの受け答え 2 (35) = 東地域

7, その他……………38

◆食事のときに使うことば (38) = 東地域

◆問いかげのことば (39) = 東地域

8, ことわざ……………42 = 東地域

9, タクシー運転手との会話……………44

◆今帰仁でタクシーに乗る (44) = 東地域

10, 地域の特徴……………46

◆今帰仁村の様子 (46) = 西地域

◆観光案内 (46) = 西地域



1, 日常的な挨拶

挨拶ことば=東(玉城)地域のことば



◆朝起きたとき

- ・もうお目覚めですか？

つなー うきんそーちー？

うきんそーちー？

- ・お目覚めですか？

うきんそーちー？

- ・早く起きなさい。もう朝だよ（朝になっているよ）。

ペーく うきれー(うきりよー)。つなー ひていみてい
いえんどー (なとぅんどー)。

- ・早く起きてください、朝になりましたよ。(目上に対して)

ペーく うきんそーれー、ひていみてい いえんしえん
どー。

- ・朝ごはんは食べた？(召し上がりましたか？)

ひていみていむん つかーたんなー？(ちゃーぎんそー
ちー？)

- ・朝ごはん食べなさい(召し上がれ)。

ひていみていむん つけーば(ちゃーぎんそーれー)。

※沖縄には共通語にあるような「おはようございます」や「おはよう」にあたる挨拶言葉はありません。「こんにちは」や「こんばんは」も同じです。



つなま うきたん!



◆ごはんを食べるとき

- ・お召しあがりください。

つちゃーぎんそーれー。 つちゃーぎんそーれー。

- ・さあ、いっしょに食べよう。

りー、まじゅん つかーやー (かまーやー)。

- ・いただきます。

くわっちー さーびら。

- ・ごちそうさま。

くわっちー さーびら!

くわっちー さーびたん。

- ・大変おいしかったです。

ちえー まーしえーたん。

- ・とってもおいしい(おいしかったです)。

ちえー まーしえん (まーしえーたん)。



◆出かけるとき

- ・行ってこようね(行ってらっしゃい)。

いじ ふーいー。

- ・行ってらっしゃい。

いじ もーれー。(目上に対して)

- ・気をつけて行ってらっしゃい(行けよ)。

きー ちきてい いじ もーりよー。(目上の人に対して)

きー ちきてい いじ ふーよー。(子どもや目下の人に対して)

いじ ふーいー。



1, 日常的な挨拶

挨拶ことば=西(仲尾次) 地域のことば



◆朝起きたとき

・もうお目覚めですか？

づなー ふきりんそーちー？

ふきんそーちー？



づなま ふきたん。

・起きましたか？

ふきんそーちー？

・早く起きなさい。もう朝だよ。

はく ふきれー。づなー ひていみていどー。

・早く起きてください、朝になりましたよ。(目上に対して)

はくなー ふきりんそーれー、づなー ゆー はき

とーんどーやー。

・朝ごはんは食べた？(召し上がりましたか？)

ひていみていむん づかーていー？(ちゃーぎんそーちー？)

・朝ごはん召し上がれ。

ひていみていむん ちゃーぎんそーれー。



◆ごはんを食べるとき

・お召しあがりください。

づちゃーぎんそーれー。 づちゃーぎんそーれー。

・さあ、いっしょに食べよう。

りー、まんな づかーやー。

・いただきます。

こっちさーいー。

・ごちそうさま。

こっちひちゃん。 こっちさーいー！

・大変おいしかったです。

しかつとう まーさたん。

・とってもおいしいよ(おいしかったよ)。

しかつとう まーせん。

じこー まーさたん。



◆出かけるとき

・行ってきます。

いじ ふーいー。

いじ ふーいー。

・気をつけて行ってらっしゃい。(夫や目上の人に対して)

きー しきてい いじ もーれーよー。

・気をつけて行きなさい。(子どもや目下の人に対して)

きー しきてい ひきよー(ひきよーやー)。





◆外で友人に出会ったとき

- ・良い天気だね。

いー わーしち いえっさー。

- ・きょうは、早起きしているね。

くーや ペーうき しちえーさやー。

- ・どこへ行くんだい？

だーち いちゅが？ (いちゅんばーが？)

- ・どちらへお出かけですか？ (年上の方に対して)

だーち もーいが？ (もーるが？)

だーかてい もーいが？

- ・こんにちは。

はい。(友達や目下の人に対して)

◆職場から帰るときの挨拶

- ・気をつけて帰ってね。

きー ちきてい いじ ふーよー。

- ・はい、また明日ですね。

はい、また あちゃーやー。

うー (おー)、あちゃーやーさい。(目上の人に対して)

いん、また あちゃーやー。(友達や目下に対して)



※返事の言葉は、目上の方には「おー」「うー」。同年代や目下には、「いん」が使われます。



- ・さあ、一緒に帰ろう。

りか、まじゅん けーらー。

まじゅん けーやびらやー (さい) (目上の人に対して)

- ・さあ、疲れ直しをしに行こう。

りか、うたいのーし しーが いかーやー。

※うたいのーし = 1日の疲れを癒やすために飲食すること。

あんやさ。



- ・そうだね。

あんやさ (あんやさやー)。

- ・どこへ行こうか？

だーち いちゅが？

だーち もーるが？ (目上の人に対して)

- ・いっしょに行きましょう。

まじゅん いちゃーびらやー。

- ・いっしょに行く？

まじゅん いちゅみ？

- ・いっしょに行くよ。

まじゅん いちゅさ。





◆夕方・夜の挨拶

- ・ただいま（「今帰ったよ」 ・「今来たよ」）。

ㇿなま けーたん。 ・ㇿなま ちゃんどー。

ㇿなま けーてい ちゃーびたん。=今帰ってきました。

- ・今帰ったの？ 疲れてないですか。

ㇿなんまる けーたんなー？ ㇿうたてー ㇿうらんなー？

- ・夜になったから、寝ようね。

ゆー くいてーとう にんばーやー。

// にんじゃびらよー。（丁寧な言い方）

- ・おやすみなさい。（「もう寝ますよ」。寝る人の言葉）

ㇿなー にんびんどー。

- ・おやすみなさい。（「もう、おやすみください」。返す人の言葉）

にんびんそーれー。（丁寧な言い方）

ㇿなー にんべーよー。（子どもや目下の人に対して）

◆初対面のときの挨拶

- ・初めまして。

ばじみていやーさい。 ばじみていやー（目下に対して）

- ・よろしく願います。

ゆたく うにげー さーびらやー。

- ・初めまして、お見知りおきください。

ばじみていやー、みーしっち くいみそーれー。



◆二回目以降のときの挨拶

- ・お元気でしたか？

がんにゅー いえんしえーていー？

- ・久しぶりだね（久しぶりですね）、失礼しました。

まるけーていやー（まるけーてい いえっさーやー）、

ぐぶりー さーびたん。

- ・久しぶりだね。ずっと元気だった？

まるけーてい いえっさーやー。ちゃー がんにゅー

いえっていー？

- ・最近は何を見なかったけど、忙しかったの？

ちかぐる ちらー みーらんたしが（みーらんしが）、

いちゆなさる あいていー（あいたんなー）？

- ・今日も暑いですね。

あちさぬやー！

くーん あちしえーさーやー（あちさぬやー）。

- ・そうだね、毎日（近頃は）暑いですね。

あん やさやー。めーにち あちしえんやー。

// ちかぐるや あちさぬやー。

- ・今日は寒いね。

くーや ぴーしえんやー。

- ・寒くなってきたね。寒いよね。

ぴーく なてい ㇿちゃんやー。 ㇿぴじゆるさぬやー。





◆その他の挨拶

- ・ありがとうございます。

にへーでーびる。

- ・ありがとうございました。

にへーいえーびたん。

にへーいえんしえーたんどー。(目上の人に対して)

- ・ごめんなさい。

わっしえーたん。

わっしえーびーたん。(目上に対して)

- ・失礼します(失礼しました)。

ぐぶりーさーびら(ぐぶりーさーびたん)。

- ・ごめんください。

ちゃーびらさい!

ちゃーびらさい(へいさい)。

- ・いらっしゃいませ。

めんそーれー。もーりんそーれー。(目上の方へ)

- ・いらっしゃいませ。どうぞ、お上がりください。

もーりんそーれー。うーち あがりんそーれー。

- ・先生がいらっしゃる。

しんしーが もーちゃんどー(めんしえんどー)。

- ・ここにいらっしゃい。

ふまかてい もーれー。(丁寧な言い方)



にへーいえーびたん!



◆正月の挨拶

- ・新しい年を迎えて嬉しいです(お慶び申し上げます)。

みーどうし むけーてい うっしえーさーやー。

- ・若(い)年を取ったね? = 新年の挨拶に使う

わかどうし とうっていー?(むけーみそーちー?)

- ・良いお正月ですね。

いいー そーがち いえいびっさーやー。

- ・良い正月になりましたね。

いいー そーぐわち なんそーちやるやー。

// なたるやー。(同年や目下に)

- ・今年もよろしくお祈いします。

くんどうん ゆたしく うにげーさーびら。

いいー そーがち
なたるやー。

くんどうん ゆたしく
うにげーさびら。

- ・良い正月だったね。

いいー そーがち いえったるやー。

- ・今年が良い正月になりますよ。

ふたーび いいー そーぐわち なんだー。



2, 自己紹介



◆自己紹介=東(玉城)地域の言葉=

・こんにちは、私の名前は平良です。

よろしく願います。

はいさい、わー なーや 平良り ㇿやーびん。

ゆたしく うにげーさーびら。

「わん なーや、平良んてい ㇿやーびん」という言い方もある。

・平良と申します。よろしく願います。

平良り ㇿやーびん。ゆたしく うにげーさーびら。

・私の名前は太郎です。役場に勤めています。

わー なーや たらーり ㇿやーびん。やくばんてい

ぱたらちよいびん。 ※ぱたらちゆん=働く

・今帰仁村玉城の生まれです。

なちじんぬ たもーし ㇿまーり いえーびん。



◆家族を紹介します

・私の家族を紹介します。祖父の一郎、祖母の富子、父の次郎、母の直美、妹の一枝です。

家族は、みんなで6人です。

わた やーぬ やーにんじゅ あーさびらー。ぶすめーぬ いちろー、ぱーめーぬ とみこ、ㇿちやっちやーぬ

じろー、あんまーぬ なおみ、うっとうぬ かずえ

いえーびん。

やーにんじゅや、むるしち るくにん いえーびん。



祖父



祖母



父

(ぶつぶー/ぶすめー) (ぱっぱー/ぱーめー) (ㇿちやっちやー)



母



私



妹

(あんまー)

(わん)

(うっとう)

曾祖父 (うぶおじー)

姉 (まーまー/んまにー) 姉妹 (ちよーてー/ㇿうない)

姉妹 (姉 しーじゃㇿうない/妹 うっとうㇿうない)

兄 (みーみー・やっちー) 弟 (うっとう)

兄弟 (いいきがちよーてー/ㇿうきー)

兄弟 (兄 しーじゃㇿうきー/弟 うっとうㇿうきー)

年上 (しじゃー) 年下 (うっとう) 男 (いいきが)

女 (いいなぐ) 赤ちゃん (あかんぐわー) 孫 (ㇿまーが)

おじ (ㇿうじゃさー) おば (ㇿうばまー) いとこ (いちゆく)

甥・姪 (みーうい)

◆地域の呼び方 (今帰仁村)

運天: うんていん 上運天: かみうんていん

渡喜仁: とうきじん 勢理客: じっちやく 天底: あみーす

湧川: わくがー 呉我山: くがやま 玉城: たもーし

仲宗根: なかじゆに 謝名: じゃな 越地: ふいじ

平敷: ぴしーち 崎山: しちゃーま 仲尾次: なこーし

与那嶺: ゆなーみ 諸志: すくじゃ 兼次: はにーし

今泊: えーどうまい 古宇利: ふい

2, 自己紹介



◆自己紹介=西(仲尾次) 地域の言葉=

- ・私の名前は渡名喜一江と申します。

わー なーや となきかずえり づやーびん。

- ・私は渡名喜一江と申します。

わぬや となきかずえり づやーびん。

- ・私の名前は一江です。役場に勤めています。

わー なーや かずえり づやーびん。やくばちゅとう
み しちゅいびん。

のーし づまーり
いえーびん。



- ・今帰仁村仲尾次の生まれです。

なちじんぬ のーし づまーり いえーびん。

◆地域の呼び方(今帰仁村)

運天: うんていぬ 上運天: (ー) ※対応することばなし
渡喜仁: とうきじん 勢理客: じっちやふ 天底: あみず
湧川: わくがー 呉我山: ぐがやま 玉城: たもーし
仲宗根: なはじゆに/ぶんじゃー 謝名: じゃな
越地: ふいじー 平敷: びしーち 崎山: ひちやま
仲尾次: のーし 与那嶺: ゆなみ 諸志: しくじゃ
兼次: はにし 今泊: えーどうめー 古宇利: ふい



◆家族を紹介します

- ・私の家族を紹介します。祖父の一郎、祖母の富子、父の次郎、母の直美、妹の一枝です。

家族は、みんなて6人です。

わったー やーぬ やーにんじゅ あーさびらやー。

ぷーぷーぬ いちろー、ぱーぱーぬ とみこ、ちゃー

ちゃーぬ じろー、あむぬ なおみ、ふとうーぬ

かずえ いえーびん。

やーにんじゅ、むるかいち るくにん いえーびん。



祖父



祖母



父

(ぷーぷー)

(ぱーぱー)

(ちゃーちゃー)



母



私



妹

(あむ/あんまー)

(わぬー)

(づうない)

うんと年をとった祖母 (とうしゅいばーぱー)

姉 (まーまー) 姉妹 (いながちよーてー)

兄 (しじゃー/いいきー/みーみー)

弟 (いいきがふとうー/ふとうー)

男の兄弟 (いいきがちよーてー)

女の姉妹 (いながちよーてー) 年上 (しじゃー)

年下 (ふとうー) 男 (いいきが)

女 (いなが) 赤ちゃん (あかんぐわー) 孫 (づまーが)

おじ (づうじゃさー) おば (づうばまー)

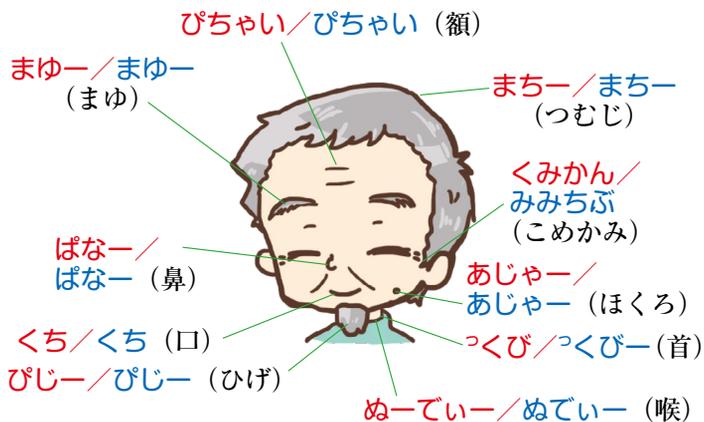
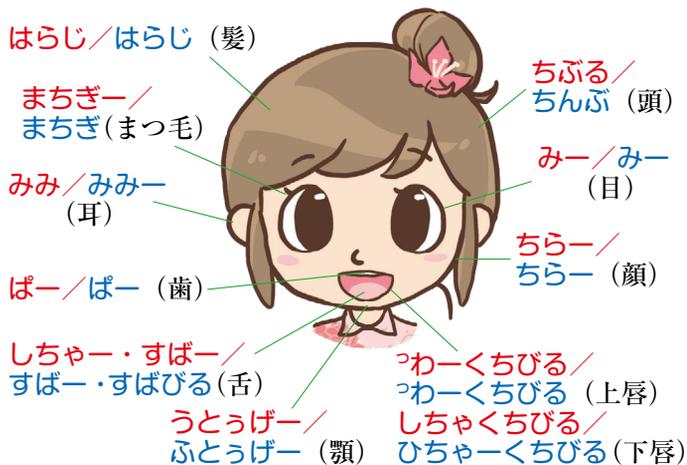
いとこ (ひちくー) 甥・姪 (みーうい)

3, 身体用語

🔊 = 東地域

🔊 = 西地域

◆ 身体を表すことば ~頭から足先までのしまくとぅば~

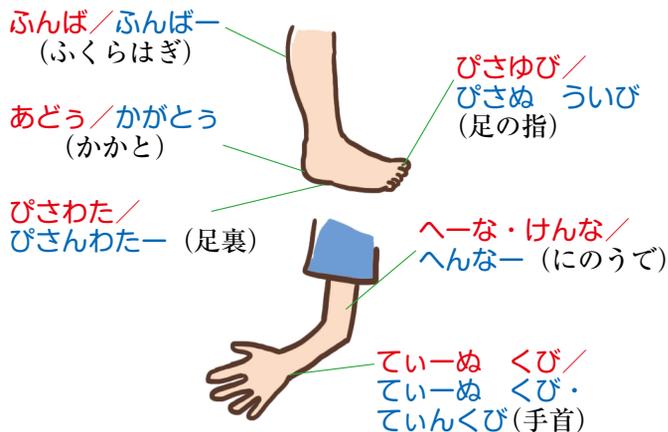
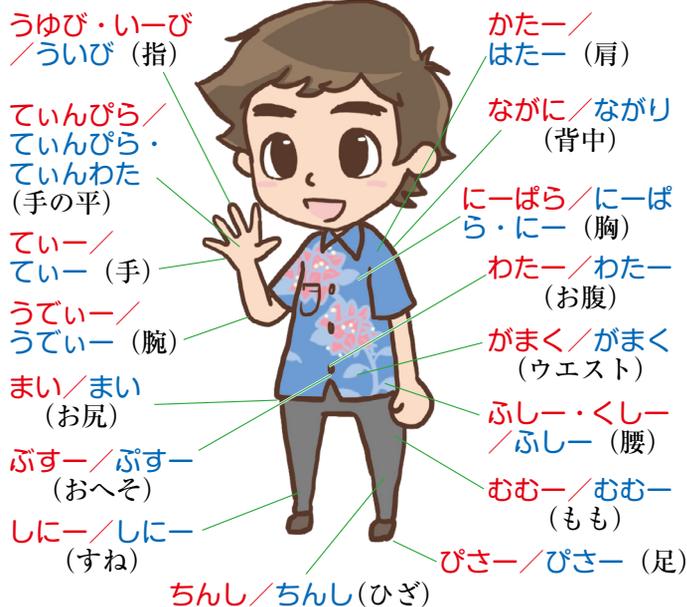


🔊 = 東地域

🔊 = 西地域

ㇿびじやい／ㇿびじやい
 (左)

にじり／じりー
 (右)





◆身体に関連することば

いち・いーち (息) あしー (汗)
 いちぶち (息を切らせる) あしかちゃー (汗かき)
 いちぶち うたーてい ならんさー。(息が切れて、疲れてしまうね。)



みーなだ(ら)ー (涙) なだ よーさん (涙もろい)
 なだ うていらーり すーさー (涙ぐむ。今にも涙が落ちようとする様子) なちぶしー・なちぶさー (泣き虫)



ちゅんぺー (唾) しゃっくい (しゃっくり)
 はしぐい (痰) さっくい (咳)
 ばなー ぶちゅん (いびきをかく)



くえんぶたー (太っている人)

よーがらー・よーがりむん (痩せている人)



わじるん (怒る) さーぷーぷー (ほろ酔い)
 くさみちゃー (怒りんぼ) ういとうん (酔っぱらっている)
 たんちゃー (短気な人) ういんちゅー (酔っぱらい)



ういている うんなー? (酔っ払っているのか?)
 がんじゅーむん・ぐてーまぎー (力の強い人を表現)
 いえんださん (優しい)
 うぷやしー (優しい人・柔和な人)
 ぶどうまぎー (背の高い人)
 だまやー (おとなしい人・無口な人)

4, お祝いや行事等で使えるしまくとぅば



乾杯、結婚式、祝賀会等の祝福。お悔やみ

◆お祝いのことば

・お祝い (うゆえー)

・お祝いします。

うゆえー さーびら。 すーじ さーびら。

・今日は、ご案内いただきありがとうございます。

くーや、えーじ しんそーち にへー いえーびたん。

にへー いえーたる (にへーどー)。(目下に対して)

・皆様の (みんなで) 健康を願って乾杯しましょう。

むるひち けんこー にがてい うーとーとぅ さーやー。

※うーとーとぅ = 「乾杯」の意味で使用

・ひと言、挨拶を申し上げます。

ちゅくとうば えーしち さーびら。

結納での言葉 (いながんぐわ くえーてい くんそーち

にへー でーびる。 = 娘さんをくださって感謝します。)

にーびち (結婚) / うぶにーびち (盛大な結婚式)

さきむい (結婚式での盃) いーびなぎー (指輪)

産後1週間のお祝い = まんさん・まんさんゆーえー

・まんさんすーじ

出産1年後のお祝い = たんかー・たんかーゆーえー



◆「おめでとうございます」を表現することば

・良いお嫁 (お婿) さんを見つけましたね。(結婚を祝う)

いいー とぅじ (うとぅ) とぅめーたんやー。

いいー づくわー あたてーさやー。

・あなたがチャンピオンになって、親戚は皆、よろこんでいるよ。

づやーが チャンピオンなていやー、えーかびー むる、

うっさしちよんどーやー。*うっさ = よろこび、よろこぶこと。

※あなた (年下に対して) = づやー

・あなたが試験に合格して、私たちは皆よろこんでいますよ。



づやーが 試験に 合格しち、わたたー むる

うっさしちよんどー。

・高校合格おめでとう (でかしたね)。

高校合格 ていかちゃん (がーしちえーさやー)。

※ていかちゃん = よくやったね。

※がーしちえーさやー = 頑張ったね。

・赤ちゃんが産まれたんだってね。

あかんぐわー うまりたんでいやー。

みんな (家族) 喜んでいるよ。 = おめでとう

むる (やーにんじゅ) うっさしちよんどー。



◆行事の際に使うことば

・清明祭（しーみー）

ご先祖様、子や孫が揃って、清明に来ていますよ。

うやばーぷじ、[？]くわー [？]まーが するてい、しー
みー しーが ちょんどーやー（ちょーんどー）。

ご先祖様に（向かって）、手を合わせましょう。

うやばーぷじかてい、うーとーとう さーやー。

手を合わせてから、ごちそうをいただき
ましょう。あな、尊。

うーとーとう しちから、うさんてー さーやー
（くわっちー さーやー）。うーとーとう。



※「うーとーとう」は、「手を合わせる」「お祈りする」の意味です。

・七夕（たなばた）

これから墓の掃除をしましょうね。

なまから ばかぬ そーじ さーやー。

お盆のときには、みんな揃って家に来てください。

しちぐわちにや、むる するてい やーかてい
[？]ちー とうらしよー。

※旧暦の7月7日の七夕の日は墓掃除をします。旧暦7月13日から15日（一部地域では16日）、盆にむけてご先祖が気持ちよく帰ってこれますようにとの気持ちが込められています。



・旧盆（しちぐわち）

（祖先の霊を）お迎えしましょう。

うんけー さーびら（うんちけー すん）。

（仏壇に）お供えをしていますので、お召し上がりください（受け取ってください）。

うさぎてい あいびーくとう、ちゃーぎんそーりよー
（うきとうってい くいみそーりよー）。

（仏壇の）お供えものをいただきますよう。

うさんてー さーびら。

お見送りしましょう。

うーくい さーびら。

来年も、いらっしゃってください。

やいぬん、もーりよー。



・「お悔やみ」に関することば

だびー（葬式） くるふく・ぐそーぢん（喪服）

ぼーじ（坊さん） 葬儀の後の七日ごとの法事（あら
なんか=初七日・しんじゅーくにち=四十九日）

・どこが悪かったんですか？（どうだったの？）

だーが わっしえーたが？

・どこがどうだったの？（どこが悪かったの？）

だーが ちゃんち いえったが？

5, 拝みのときに使うしまくとぅば



火の神や屋敷拝み、トートーメーなど

◆祈願することば (うがみ)

※うーとーとう = 神や祖先を拝むときに発することば。

※ひぬかん = 火の神：台所に祀られている「かまどの神」。

※うぐわんぶすく = 神や祖先への祈願や儀式などが、十分にされていないこと。

※わーぶるぬ かみさま = <豚小屋>トイレの神様。昔は豚小屋とトイレが一緒だった。

- ・良い正月です。今年も健康にしてください。

いー そーぐわち いえーびっさー。くんどろん がん
じゅーしみてい くいみそーり。

- ・今年もよろしくお祈いします。見守ってください。

くんどろん ゆたしく うにげー さーびら。 みーまん
てい くいみそーり。

- ・十六日 (旧暦1月16日に行う墓参り) の際の祈願ことば
今日はね、十六日祭ですので、ごちそうをお供えした
ので、お受け取り (お召し上がり) ください。

くーややー、じゅーるくにちー いえーびーくとう、
くわっちー うさぎてーとう、うきとうってい くいみ
そーり (ちゃーぎんそーりよー)。



- ・清明祭のとき、お墓で祈願することば

ご先祖様、平良門中、皆そろって (清明に) 参りました。ご馳走をお供えしましたので、お受け取りください。

うやばーぶじ、てーらむんちゅー、むる すりてい
ちよーいびん。くわっちー うさぎてい あいびーくとう、
うきとうってい うたびみそーり。

- ・屋敷の御願 (やしちぬ うぐわん)

今日は、屋敷の御願を捧げましたのでお受け取りください。毎日 (いつも) お守りください。

くーや、やしちぬ うぐわん うさぎてーびーくとう
うきとうってい くいみそーり。めーにち (ちゃー)
みーまんてい くいみそーり。

◆まじないことば

※子どもを落ち着かせるときに使うまじないことば。

- ・魂よ、魂。魚も米も食べなさい。魂よついて来なさい。

まぶやー、まぶやー。づゆん づめん づけーよ。
まぶやー まぶやー うーてい くーよー。

※づゆー = 魚 づめー = 米 づけーよー = 食べなさい

- ・だるくなったら使うものだよ。

ちるだいしーねー ちかいし いえさ。

6, 病院での会話



◆診察のときの受け答え 1

- ・お元気ですか？（でしたか？）

ちゃー がんじゅー いえんしえんなー？（いえんしえんたんなー？） 女性の言い方=げんきいえんしえんていー？

⇒元気ですよ。ちゃー がんじゅーどー。

がんじゅーどーやー。

⇒（少し）気分が悪いです。

うっぺー ちむ いふなー いえっさー。

- ・夜は（よく）眠れた？

ゆるーや ゆー にんばりーていー？

⇒よく眠れたよ。

ゆー にんばりーたん。

⇒よく眠れなかったよ。

ていーちん にんばらんたーさー。

- ・今日のご気分はいかがですか？

くーぬ あんべーや ちゃんち いえーがやー？

⇒今日は良い気分だよ。

くーや いー あんべー いえっさー。

⇒今日はとても良くなっているよ。

くーや いっぺー まし なとうんどー。



⇒今日はあんまり良い気分ではない。

くーや どうく（なんじゅー） ましやらんさー。

- ・どこか悪いところはないね？

だんがら わっしえん とうくる ねーんなー？

⇒少し気持ちが悪いね。

うっぺー（よーっぴ） あんましえっさー。

※よーっぴ=少し（女性がよく使う）

- ・いつもと変わった様子はありませんか？

ちゃーとう かわとうぬ とうくる ねんしえんなー？

- ・どこか具合の悪いところはないですか？（ないね？）

だんがら わっしえん とうくる ねんそーらに？

（ねんなー？）

⇒どうもないですよ（どうもないよ）。

っちゃん ねーびらんよー（っちゃん ねーんよー）。

⇒よくなっていますよ。

まし なといびんどー。

⇒少し頭が痛いです。

うっぴや（よーっぴや） ちぶる やみっさー。

- ・どこか痛いところはないですか？（ないね？）

だんがら（だーがら） やみぬ とうくる

ねんそーらに？（ねんなー？）

ねんそーらに？





・どのように痛みますか？

「**ちやんがらーっし やみーが？**

「**ちやんちしち やみーが？** (丁寧な言い方)



⇒とっても痛いよ。 **でーじな やみーっさー。**

⇒そうでもないよ。 **あんちえー あらんさー。**

⇒そんなに痛くないよ。 **あんすか やまんさー。**

⇒どこも痛くないよ。 **だん やまんよー。**

・どうしましたか？ (どうしたの？)

「**ちやんち しんそーちやが？ (ちやんち しちやが？)**

「**ちやんち しみそーちやが？** (女性がよく使う)

・大丈夫ですか？ (大丈夫？)

「**ちやん ねんそーらに？ (ちやん ねんなー？)**

⇒何でもありません (何でもありません)。

「**ちやん ねーらんさー (ぬーん あらんさ)。**

⇒今日はとても良くなっているよ。

くーや いっぺー まし などうんどー。

・痛いかもしれないが、一緒に頑張ろうね。

やみが すーら わからんしが、まじゅん がーさー

やー (がんばらーやー)。 ※**がーしえー**=頑張れ

・少しは痛むけど、我慢してください (しなさい)。

よーっぴや やむしが、にじりんそーれー (にじれー)。



・かゆいところはどこですか？ (どこ？)

ごーしえん とうくる だーいえんしえーが？ (だーが？)

⇒頭がかゆい (かゆいです)。

ちぶる ごーしえん (ごーしえいびーさー)。

・足がしびれる。 **びさびる くみっさー。**

※**くみっさー**=しびれる

⇒少ししびれる。 **うっぴや くみっさー。**

⇒強い痛み。 **ちえー やみーっさー。**

・暑い **あちしえん**

・今日は暑いね。 **くー あちしえーさー。**

・寒い **ぴーしえん**

・今日は寒いね。 **くー ぴーしえーさー。**



◆診察のときの受け答え 2

・検温をする (熱を計る) ので、ベッドに休んでいてください (寝てください)。

にちー ばかるとう (ばかいとう)、ベッドに ゆくいんそーれー (にんびんそーれー)。

・着ている着物 (服) を着替えましょうね？

ちちよーる ちん けーびらやー？

・危ないですよ (危ないよ)。

うかしえーびんどー (うかしえんどー)。





- ・顔を洗いましょうね (顔洗おうね)。
ちらー あらいびらやー (ちらー あららやー)。
- ・どのような食べ物が好きですか? (好きなもの?)
?ちゃんねーる ?けーむん しちー いえーびーが?
(しちー いえーが?)
- ・毎日、食事は美味しく召し上がっていますか?
めーにち、?けーむん まーくまーく ちゃーぎてい
もーいんなー? (めんしえーが?)
※食べている? = かーとうんなー? (目下に対して)
※美味しい = まーしえん
- ・毎日の楽しみは何ですか?
めーにちぬ たぬしみや ぬー いえーが?
⇒テレビを観るのが楽しみです。
テレビ みーしる たぬしみ いえーる。
- ・何をして一日を過ごしていますか?
ぬー しち ?ぴっちゅい くらちよーが?
- ・何か心配事はないですか?
ぬんがら しわーぐとう ねーやびらんなー?
- ・早く元気になってください (なってね)。
ペーく ぱしっとう なんそーりよー(なりよーやー)。
// なみそーりよーやー。



- ・歩かないと、元気になるしませんよ (ならないよ)。
あっかんねー、ぱしっとう なんそーらんどーやー
(ならんどーやー)。
- ・おしっこを我慢していませんか? (してない?)
すペー にじてい もーらに? (?うらんなー?)
- ・トイレに行ってきましたか? (行ってきたの?)
ぷる いじ もーちー? (いじちゃんなー?)
- ・トイレに行きたいのなら、遠慮せずに
言ってくださいね。
ぷる いちぶしえーねー、たんきらん
ぐとう いんそーれー。
⇒早めに言ってくださいね。
ペーくなー いんそーりよー。
- ・今日はよく頑張りましたね (頑張ったね)。
くーや ゆー がー しんそーちゃんやー (がー し
ちゃんやー)。
- ・今日はとてもよくなっているよ。
くーや いっペー まし なとうんどー。
- ・お元気で!
ぱしっとうーどー。
がー しよーやー = 頑張りなさい (身体に気をつけてね)





日常でよく使うしまくとぅば

◆食事のときに使うことば

- ここに置きましょうね (置こうね)。

うまかてい うちゃびらやー (うかーやー)。

- どのような食べ物が好きですか？

ㇿちゃんねーるー かみむん ましゝえんしゝえーが？

ㇿちゃんねーるー ㇿけーむん ましゝえーが？ (目下に)

ㇿちゃんねーる かみむん ましゝえーびーが？ (女性)

- たくさん (お腹いっぱい) 食べてくださいね。

わたぬ みー ㇿちゃーぎんそーれー。

- 美味しいですか？ (美味しい？)

まーしゝえんなー？ (年輩の方に対する普通の言い方)

まーしゝえん？ (友達や目下に対する言い方)

まーしゝえーびんなー？ (女性の言い方)

- 美味しかったですか？ (美味しかった？)

まーしゝえーびたんなー？ (まーしゝえーたんなー？)

- 召し上がりましたか？

ㇿちゃーぎんそーちー？

- 食べた？

ㇿかーていなー？ (目下に対して)



- お召し上がりください (食べなさい)。

ㇿちゃーぎんそーれー (ㇿけーば)。

- 何が好きですか？

ぬー しちゝえーびーが？ (ましゝえーが？)

- 何が嫌いですか？ (嫌いなの？)

ぬー ましゝえーが？

ぬー しちやびらんが？ (しかんが？)

◆食味をあらわすことば

- あばしゝえん (薄い味)

- はらしゝえん (味が濃い・辛い)

- ますがらせん (塩辛い)

- はたーちゃー (濃いお茶)

- じゃーせん (苦い)

- はたみしんしる (濃い味噌汁)



◆問いかげのことば

- 何でも聞いてくださいね (聞きなさい)。

ぬーゝえていん ちちんそーりよー (ちけー)。

- 昔の今帰仁について教えてください (教えてちょうだい)。

むかしぬ なちじんぬ くとぅ ならーち とぅらしんそーれー (とぅらしゝえー)。

- 困ったことはないですか？ (ないね？)

くまとぅーぬ くとぅ ねんそーらに？ (ねーらんなー？)



・どこへいらっしゃいますか？

だーち もーちやが？

だーち
もーちやが？

・どこへ行ったの？

だー いじやが？

・あなたが好きなこと（もの）は何ですか？

づやーが しちな むんや めーが？

・楽しみは何ね？

うっさぐとっや めーが？

・出身はどちらでいらっしゃいますか？（出身はどこ？）

いったー づまーりじま だー いえんしえーが？（だーが？）

⇒私は玉城の出身です（寒水の出身です）。

わんや たもーし づまーりいえーびん（ばーま づまーりいえーびん）。

・今帰仁の言葉を教えてください。

なちじんぬ くとっば ならーち とっらしんそーれー。

// ならしんそーれー。

// ならーち とっらしえー。（目下に）

・お疲れさまでした（お疲れになりましたね）。

づうたんそーちえーさやー。

づうたてーさやー。（目下に対して）



・明日もよろしくお願いします。

あちゃーん ゆたしく うにげー さーびらやー。

・お先に失礼します（お先に）。

さち ないびら づうー（さち ならやー）。

・それでは、また来ます。

あんしえー、また ちゃーびーさ（さーびーさ）。

・また来るよ。

また すーさ。

・ごめんください。

ちゃーびらさい。

※よく知っている人の家だと、次のような声かけになる。

※はいさい（男性） はいたい。（女性） へいさい（同僚や年下に）

・いらっしゃいませ。

はい づもーれー。

はい ふーば。（年下に対しての言い方）

・気をつけてお帰りください（帰りなさい）。

きー しきてい づもーりよー（けーりよー）。

⇒（返事）「さよなら」の意味。

またやー（また あちゃーやー）。

・行ってきます。

いじ ふーいー。



8, ことわざ



沖縄本島／今帰仁

- ・「さき ぬましばる ちゅーぬ ちむぐるや わか
いる」(酒を飲ませてこそ、人の性分は分かる)
- ・「くびぬ えーきばる、じゅーん えーちゆる」(首が
動いてこそ、しっぽも動く)「上の者が動いてこそ、従
う者も動ける」の意味で使われる。
- ・「どー たぶとうけー じん たぶいしとう いぬむん」
(身体を保つのはお金を貯めるのと同じ)「健康な身体
は、お金を貯めておくのと同じくらい大事」との意味
で使われる。
- ・「いちゃりば ちよーてー」(行き逢えば兄弟)「一度会っ
た人でも、兄弟のように親しく付き合いができる」の
意味で使われる。
- ・「きらまや みーしが、まちぎや みーらん」(慶良間
は見えるが、(目に最も近い)まつ毛は見えない)「遠
くの人相手にするけど、近くの人とは話さない」こ
とのたとえて、「近くの人を大事にしろさい」の意味で
使われる。
- ・「ぬちどう たから」(命は宝)「命はかけがえのない
宝であり、大事にしろさい」の意味で使われる。



・「やーなれーる ふかなれー」

(家での習いが、外での習い)

「家での教えが外での行動に
なるので、家庭でのしつけを
大事にしろさい」の意味で使
われる。



- ・「くとうばや じんぢけー」(言葉は銭遣い)「言葉は、
お金と同じように大事にしろさい」の意味で使われる。
- ・「まーりじまぬ くとうば わっしーねー、くにん わし
りん」(生まれ島の言葉を忘れたら、国も忘れる)
- ・「しみや しっち むぬや しらん」(学問を知って、
ものがわからぬ)「どんなに勉強に励んでも、道理をわ
きまえないのでは何にもならない」の意で、学がある
と偉ぶっている人に対する戒めとして使われる。
- ・「あわていーる なかー、よーんなー (うていちきよー)」
(あわてる中、ゆっくり<落ち着け>)「急ぎの用があ
るときほど、落ち着いて行動しろさい」の意。
- ・「みー いらー くび うりり」(実るほど首を垂れよ)
「中身が充実するほど頭を下げ、謙虚になりしろさい」の
意味で使われる。

9, タクシー運転手との会話



◆今帰仁でタクシーに乗る

だーまでい ？もーるが？



- ・どちらまで行きますか？（行くの？）
だーまでい ？もーるが？（いちゅが？）
- ・今帰仁村役場までお願いね。
なちじんやくばまでい たぬまやー。
- ・どここの道から行けばいいの？
だーぬ みちから いきば ましーえーが？
- ・県道から行ってください（行ってちょうだい）。
けんどーから もーれー（いじ とうらしえー）。
- ・道は、運転手にお任せします（任せよ）。
みちや、うんてんしゅかい まかさびーさ（まかすさ）。
- ・あなたにお任せします。
？やーに まかすさ。（目下に対して）
なーに まかさびーさ。（目上に対して）



- ・ここから曲がって（曲げて）ください。
ふまから まぎりんそーれー。
ふまーら まぎてい とうらしんそーれー。
ふまから まぎれー。（目下に対して）
- ・そこから、右（左）に曲がってください（曲がってちょうだい）。
ふまから、にじりかてい まぎりんそーれー。
ふまから、ひじやいかてい まぎてい とうらしえー。
- ・では（それじゃあ）、ここでお願いします。。
あんしえー、ふまんてい しまびーさ。
- ・ここでいいよ。
ふまんてい しみーさ。
- ・お幾らですか？
ちゃっさいえーびーが？
- ・幾らなの？（幾ら？）
ちゃっさいえーが？（ちゃっさが？）
- ・ちょうど千円になります（ちょうど千円です）。
ちんとう しえんえん ないびーさ（ないさ）。
- ・ありがとうございました。また利用してくださいね。
にへー さいえーびたん。また ちかーてい とうらしんそーりよー。

ふまんてい しみーさ。



今帰仁村の様子



◆今帰仁村の特徴

- ・沖縄本島の北部・本部半島に位置する、人口約 9500 人の村です。19 の集落があり、世界遺産の今帰仁グスクや、人が初めて生まれたとの伝説がある古宇利島、今泊のフクギ並木などがあります。

海や森などが豊かで、人情味あふれるのどかな村です。

- ・ふちなーぬ にし・むとうぶはんとーねー あいぬ、人口や てーげー 9500 人ぬ 村 いえーびん。19 ぬ 部落が あってい、世界遺産ぬ なちじんぐしくとか、にんじんが ぱじみてい づまーりてーぬ ぱなしーが あいぬ ふい、えーどうめーぬ さばんぎ 並木ぬ 道んでー あいびん。うみとうか むい とうか ふぼせーぬ とうくま、人情ぶかせーぬ ゆったり ひちゅいぬ 村 いえーびん。

◆観光案内

- ・今帰仁村のいろいろな場所をご案内しましょうね。
なちじんぬ いるんな とうくま そーていじ みしりんそーらやー。



- ・今帰仁グスク なちじんぐしく

今帰仁グスクは 13 世紀末か、14 世紀ごろに築かれたと考えられるグスク。北山グスクともいいます。

沖縄島の北部を治めていた北山王のいたグスクです。面積は那覇にある首里城とほぼ同じ。美しい石垣は、沖縄を代表するグスクです。

なちじんぐしくや 13 世紀ぬ しまいか、14 世紀ぐるねー しこらってんり かんげーらりぬ ぐしく。ほくざん ぐしくりん づやーびん。

ふちなーぬ にしんかた ふさみとーため 北山王が ういたぬ ぐしく いえーびん。ぴるさや なふあぬ すいぐしくとう てーげー ゆぬ はたい。すーらしー いしがちんでー、ふちなー 代表 すーぬ ぐしく いえーびん。

- ・仲原馬場 なかはらば

戦前まで、村人が楽しんだ越地にある競馬場です。(馬場の) 両脇にあるリュウキュウマツの並木も有名です。

なかはらばばや 戦前までいー、村じゅーぬ ちゅーが たぬしどうため ふいじーねー あいぬ づまーうい いえーびん。りよーわちねー あいぬ りゅーきゅーまちなみきん なー うりとういびん。



・運天港 うんてんこー

運天港は源為朝が上陸した伝説がある港です。大正5年まで、今帰仁村の役場があった場所でもあります。

周りには、^{むむじゃなばか}百按司墓や^{うーにしばか}大北墓や大和人墓などがあります。

展望台から眺めた屋我地内海は、県内でも名高い美しい場所としても知られています。

うんてんこーや 源為朝が しっちゃんり ちたわとういぬ なーとう いえーびん。大正5年までい、なちじんぬ やくばー あいたぬ とうくま いえーびん。

まーるねーや、^{むむじゃなばか}百按司墓^{うーにしばか}とうか 大北墓 やまとう墓んでーが あいびん。

むいちゃら ながみーぬ やがじぬ うみや、ふちなーねーていん なーだかせーぬ すらどうぐるとうひちん しらっとういびん。



話して 使おうしまくとうば

『ぱなし ちからなしまくとうば』

なちじんくとうば (今帰仁ことば)

発行日：2020 (令和2) 年3月27日

監修：西岡 敏 (沖縄国際大学総合文化学部教授)

今帰仁くとうば話者：平良正男、平良真清、新里清子、

渡名喜一江、しまくとうばで遊ぼう会

音声話者：平良哲男 (玉城)、渡名喜一江 (仲尾次)

発行：沖縄県文化観光スポーツ部 文化振興課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号

編集・制作：しまくとうば普及センター (沖縄県文化協会)

(校閲) センター長 波照間永吉

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 文化振興課内

制作・印刷：合資会社 沖縄時事出版

代表 名幸諄子

編集責任 呉屋栄治

〒900-0025 那覇市壺川1-3-10

TEL 098-854-1622 (編集部)

原稿執筆・構成：宮城一春

【写真提供】

「今帰仁グスク」「運天港」(沖縄観光コンベンションビューロー)